

大学番号：公短01

[平成26年度設置]

計画の区分：学科の設置

届出

大分県立芸術文化短期大学 国際総合学科

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

公立大学法人大分県立芸術文化短期大学  
平成26年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 教務学生部

職名・氏名 教務学生部長 ヨシヤマ 吉山 ナオヒロ 尚裕

電話番号 097-545-0542

F A X 097-545-0543

e-mail yoshiya@oita-pjc.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に  
( )書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部  
(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成26年3月20日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

1. 調査対象大学等の概要等	pp. 1－4
2. 授業科目の概要	pp. 5－9
3. 施設・設備の整備状況、経費	p. 10
4. 既設大学等の状況	p. 11
5. 教員組織の状況	pp. 12－19
6. 留意事項に対する履行状況等	p. 20
7. その他全般的事項	pp. 21－23

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 ・ 様式は, 平成24年度開設の4年制の学科の場合(平成26年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
国際総合学科 短期大学士 (国際総合)	2年	100人	0人	200人	国際文化学科(廃止) (△100) ※平成25年4月学生募集停止

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成26年度		平均入学定員 超過率	備考
	平成25年度	平成26年度	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	100 ( - ) [ - ]	0 ( - ) [ - ]	100 ( - ) [ - ]	0 ( - ) [ - ]	1.19倍	
志願者数	224 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	272 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]		
受験者数	219 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	269 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]		
合格者数	216 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	235 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]		
B 入学者数	111 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	127 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]		
入学定員超過率 B/A	1.11		1.27			

- (注) ・ 数字は, 平成26年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入**してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	対象年度		平成25年度		平成26年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ - ] 111	[ - ] -	[ - ] 127	[ - ] -			
2年次	[ - ] -	[ - ] -	[ - ] 110	[ - ] -			
計	[ - ] 111	[ - ] -	[ - ] 237	[ - ] -			

- (注) ・ 数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

公立大学法人 大分県立芸術文化短期大学

## (2) 大学名

大分県立芸術文化短期大学

## (3) 大学の位置

〒870-0833

大分県大分市上野丘東1番11号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	ナカヤマ キンゴ 中山 欽吾 (平成20年10月)		
学長	ナカヤマ キンゴ 中山 欽吾 (平成20年10月)		
学部長			
学科長等	イリノ カワコ 入野 賀和子 (平成25年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成24年度に報告済の内容 → (24)

平成26年度に報告する内容 → (26)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。  
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 ・ 様式は, 平成24年度開設の4年制の学科の場合(平成26年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
国際総合学科 短期大学士 (国際総合)	2年	100人	0人	200人	国際文化学科(廃止) (△100) ※平成25年4月学生募集停止

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成26年度		平均入学定員 超過率	備考
	平成25年度	平成26年度	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	100人 ( - ) [ - ]	0人 ( - ) [ - ]	100人 ( - ) [ - ]	0人 ( - ) [ - ]	1.19倍	
志願者数	224 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	272 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]		
受験者数	219 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	269 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]		
合格者数	216 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	235 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]		
B 入学者数	111 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	127 ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]		
入学定員超過率 B/A	1.11		1.27			

- (注) ・ 数字は, 平成26年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入**してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	対象年度		平成25年度		平成26年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ - ] 111	[ - ] -	[ - ] 127	[ - ] -			
2年次	[ - ] -	[ - ] -	[ - ] 110	[ - ] -			
計	[ - ] 111	[ - ] -	[ - ] 237	[ - ] -			

- (注) ・ 数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成25年度 入学者	111 人	1 人	平成25年度	1 人	0 人	学習意欲の減退(1人)	0.0 %
			平成26年度	0 人	0 人		%
平成26年度 入学者	127 人	0 人	平成26年度	0 人	0 人		%
合 計	238 人	1 人					0.0 %

(注)・数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成26年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他





科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
現代教養	国際総合入門	1前	2			4	6	3				<p>育児短時間勤務制度適用 (平成25年4月1日～平成26年3月31日) のため、他の専任教員で担当予定回 を代行(25)-</p> <p>育児短時間勤務制度適用終了 のため、担当予定者復帰、ならび に、江漢大学との交流協定に基づく 派遣教員の変更(26)</p> <p>育児短時間勤務制度適用 (平成25年4月1日～平成26年3月31日) のため、他の教員に担当学生を配分 (25)-</p> <p>育児短時間勤務制度適用終了 のため、担当予定者復帰(26)</p> <p>育児短時間勤務制度適用 (平成25年4月1日～平成26年3月31日) のため、他の専任教員で担当予定回 を代行(25)-</p> <p>育児短時間勤務制度適用終了 のため、担当予定者復帰(26)</p> <p>育児短時間勤務制度適用 (平成25年4月1日～平成26年3月31日) のため、他の専任教員で担当予定回 を代行(25)-</p> <p>育児短時間勤務制度適用終了 のため、担当予定者復帰(26)</p> <p>江漢大学との交流協定に基づく 派遣教員の変更(26)</p>
	国際ボランティア論	1前	2			5	5	2				
	観光総論	1前	2						1			
	ビジネス実務総論	1前	2			1						
	キャリアデザイン演習 I	1前	1				2					
	キャリアデザイン演習 II	1後	1			4	5	3				
	情報処理基礎演習	1前		1							兼 2	
	現代総合人間論	1後		2		1						
	余暇論	2後		2		1						
	比較文化論	2後		2					1			
	文化交流史	2後		2			1					
	日本の文化と社会	1後		2			1	1	1			
	アジアの文化と社会	2前		2		1	1	1				
	ヨーロッパの文化と社会	2前		2		1	1	1				
	英語圏の文化と社会	1後		2		1	2					
	日本文化論	2前		2		1						
日本の伝統文化	2前		2							兼 1		
現代日本論	2後		2			1						
専門教育科目	英語コミュニケーション(初級)	1前		2			1					<p>江漢大学との 交流協定に基づく 派遣教員の変更(26)</p>
	英語コミュニケーション(中級)	1後		2			1					
	検定英語演習	1後		2		1						
	英文法演習	1後		2			1					
	時事英語	2前		2		1						
	英語プレゼンテーション	2前		2			1					
	ビジネス英語(初級)	2前		2			1					
	ビジネス英語(中級)	2後		2		1						
	イングリッシュ・ライティング	1後		2			1					
	検定フランス語演習	2前		2			1					
	フランス語コミュニケーション	1後		2			1					
	検定中国語演習	2前		2			1	1				
	中国語コミュニケーション	1後		2			1	1				
	検定韓国語演習	2前		2				1	1			
	韓国語コミュニケーション	1後		2				1	1			
	多文化理解論	1後		2				1				
	近現代世界の歴史	2前		2				1				
	国際関係論	1後		2				1				
	国際経済論	1後		2		1						
	国際法入門	2前		2				1				
	国際理解教育論	2後		2				1				
	国際秘書概論	1後		2							兼 1	
	海外英語実習(イギリス)	1・2前		2		1						
	海外英語実習(ニュージーランド)	1後		2				1				
	海外英語実習(アメリカ)	1後		2				1				
	海外フランス語実習	1後		2				1				
海外中国語実習	1・2前		2					1				
海外韓国語実習 I	1・2前		2					1				
海外韓国語実習 II	1後		2					1				
海外ボランティア実習	1後		1				1					
観光マネジメント	大分の観光と文化	1前		2			3	1			兼 1	
	文献からみた大分の歴史と人物	1前		2								
	観光文化論	1後		2					1			
	観光資源論	2後		2		1						
	観光実務論	2前		2					1			
	観光ビジネス論	1後		2					1			
	観光経済学	2後		2					1			
	観光英語	1前		2		1						
	観光フィールドワーク	2前		2					1			
	エコツーリズム論	2前		2					1			
	ホスピタリティ論	2前		2					1			
	ユニバーサルデザイン	2後		2							兼 1	
	世界遺産論	1後		2			1					
	観光地理論	1後		2					1			
	国際観光ビジネス	1後		2					1			
	観光ビジネス特論	2後		2					1			
ホテルビジネス実務	2前		2					1				
グランドスタッフ実務	2後		2							兼 1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				備考		
			必修	選択	自由	計	教授	准教授	講師	助教		助手	
専門教育科目	簿記Ⅰ	1前		2								兼	1
	簿記Ⅱ	1後		2								兼	1
	経営学総論	1後		2			1						
	現代生活論	1後		2								兼	1
	現代社会論	1後		2								兼	1
	現代企業論	2後		2								兼	1
	消費行動論	2前		2								兼	1
	労働と倫理	2前		2			1						
	社会心理学	2前		2									1
	情報処理応用演習	1後		1								兼	2
	デジタル文書作成演習	1後		1								兼	3
	検定日本語演習	1前		2				1					
	文章表現Ⅰ	1後		2				1					
	文章表現Ⅱ	2前		2				1					
	日本語プレゼンテーション	2前		2				1					
	秘書概論	2前		2								兼	1
	秘書実務Ⅰ	1前		1								兼	1
	秘書実務Ⅱ	1後		1								兼	1
	秘書実務Ⅲ	1後		1								兼	1
	医療事務	1後		1								兼	1
	ビジネス法規	2後		2			1						
	ビジネス実務演習	2前		2			1						
	ビジネスコンピューティング	1後		1								兼	2
	DTP演習	1後		1								兼	1
	Web演習	2後		1								兼	2
インターンシップ	1・2前		1			1	1	1					
ゼミナール	基礎ゼミナール	1前	2			4	5	3	2	3			本授業科目は進路支援主任担当科目となっており、進路支援主任が交替したため(25) 育児短時間勤務制度利用 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)のため、他の教員に担当学生を配分(25) 育児短時間勤務制度適用終了のため、担当予定者復帰、ならびに、江漢大学との交流協定に基づく担当の変更(26)
	教養ゼミナール	1後	2			4	6	3	5	4			
	卒業研究	2通	4			4	6	3	5	4			

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成24年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え直し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え直し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
9	155	0	164	9	156	0	165	
[ 0 ]	[ 1 ]	[ 0 ]	[ 1 ]					

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[ ]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当授業科目なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当授業科目なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

特になし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区分		内容				備考			
(1) 校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	共有する学校の名称等 大分県立芸術緑丘高等学校 収容定員：240名 面積基準：校地共有			
	校舎敷地	31,869㎡	0㎡	9,428㎡	41,297㎡				
	運動場用地	2,666㎡	11,300㎡	0㎡	13,966㎡				
	小計	34,535㎡	11,300㎡	9,428㎡	55,263㎡				
	その他	0㎡	0㎡	0㎡	0㎡				
	合計	34,535㎡	11,300㎡	9,428㎡	55,263㎡				
(2) 校舎	専用	18,602㎡	0㎡	2,847㎡	21,499㎡				
	(18,602㎡)	(0㎡)	(2,847㎡)	(21,499㎡)					
(3) 教室等	講義室	14室	8室	41室	3室 (補助職員 2人)	2室 (補助職員 1人)	大学全体		
	演習室								
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室数					
	国際総合学科			13室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	大学全体	
	国際総合学科	101,233 [17,348] (97,613 [18,007]) <del>(94,509 [17,373])</del>	462 [128] (406 [112]) <del>(421 [114])</del>	0 [0] (0 [0])	12,906 (12,985) <del>(13,003)</del>	0 (0)	0 (0)		
	計	101,233 [17,348] (97,613 [18,007]) <del>(94,509 [17,373])</del>	462 [128] (406 [112]) <del>(421 [114])</del>	0 [0] (0 [0])	12,906 (12,985) <del>(13,003)</del>	0 (0)	0 (0)		
(6) 図書館	面積	閲覧座席数		収納可能冊数		大学全体			
	1,052㎡	94席 93席		約11万冊					
(7) 体育館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体			
	1,012㎡	テニスコート 3面							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	県外生 県内生
		教員1人当たり研究費等	300千円	300千円	図書購入費	6,006千円	6,006千円	6,006千円	
		共同研究費等	千円	千円	設備購入費	8,000千円	8,000千円	8,000千円	
	学生1人当たり納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	千円	
		762千円	390千円	千円	千円	千円	千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成26年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(26)」を「備考」に赤字で記入してください。  
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	大分県立芸術文化短期大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	定 員 超 過 率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次	人		倍			
国際総合学科	2	100	—	200	短期大学士（国際総合）	1.19	平成25年	大分市上野丘東	平成25年より募集停止 （国際文化学科）
国際文化学科	2	—	—	—	短期大学士（国際文化）	—	平成4年	1番11号	
情報コミュニケーション学科	2	100	—	200	短期大学士（情報コミュニケーション）	1.25	平成4年		
美術科	2	75	—	150	短期大学士（美術）	1.15	昭和36年		
音楽科	2	65	—	130	短期大学士（音楽）	0.97	昭和36年		

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部、学科）、大学院（専攻）及び短期大学（学科）について、それぞれの学校種ごとに、平成26年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。その際、AC対象学部学科等についても当該様式に記入してください。（ただし、専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。）
- ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで（小数点第3位を切り捨て）を、学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程）単位で記入してください。
  - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<国際総合学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	入野 賀和子 (63)	平成25年4月	英語 I A 英語 I B 英語 II A 英語 II B 国際総合入門 キャリアデザイン演習Ⅱ 英語圏の文化と社会 検定英語演習 時事英語 海外英語実習 (イギリス) 観光英語 基礎ゼミナール 教養ゼミナール 卒業研究						
専	教授	上野 正二 (63)	平成25年4月	哲学 倫理学 国際総合入門 キャリアデザイン演習Ⅱ 現代総合人間論 余暇論 日本文化論 労働と倫理 基礎ゼミナール 教養ゼミナール 卒業研究						
専	教授	植村 修一 (56)	平成25年4月	英語 I A 英語 I B 国際総合入門 ビジネス実務総論 キャリアデザイン演習Ⅱ ビジネス英語(中級) 国際経済論 経営学総論 ビジネス法規 ビジネス実務演習 基礎ゼミナール 教養ゼミナール 卒業研究						
専	教授	高瀬 圭子 (46)	平成25年4月	ドイツ語 I A ドイツ語 I B ドイツ語 II A ドイツ語 II B 国際総合入門 キャリアデザイン演習Ⅱ ヨーロッパの文化と社会 観光資源論 基礎ゼミナール 教養ゼミナール 卒業研究						

専	准教授	疇谷 憲洋 (46)	平成25年4月	ヨーロッパの歴史							
				自立を考える							
				ポルトガル語ⅠA							
				ポルトガル語ⅠB							
				ポルトガル語ⅡA							
				ポルトガル語ⅡB							
				国際総合入門							
				キャリアデザイン演習Ⅱ							
				文化交流史							
				近現代世界の歴史							
大分の観光と文化											
世界遺産論											
インターンシップ	専	教授	植村 修一 (56)	平成25年4月	インターンシップ	本授業科目は進路支援主任担当科目となっており、進路支援主任が交替したため(25)					
基礎ゼミナール											
教養ゼミナール											
卒業研究											
専	准教授	野坂 昭雄 (41)	平成25年4月	文学							
				国際総合入門							
				キャリアデザイン演習Ⅰ							
				キャリアデザイン演習Ⅱ							
				日本の文化と社会							
				現代日本論							
				検定日本語演習							
				文章表現Ⅰ							
				文章表現Ⅱ							
				日本語プレゼンテーション							
基礎ゼミナール											
教養ゼミナール											
卒業研究											
専	准教授	玉井 昇 (41)	平成25年4月	国際関係入門	兼任	准教授	吉岡 孝 (43)	平成25年4月	キャリアプランニング		本授業科目は教務学生部副部長担当科目となっており、教務学生部副部長が交替したため(25)
				キャリアプランニング							
				英語ⅠA							
				英語ⅠB							
				英語ⅡA							
				英語ⅡB							
				国際総合入門							
				国際ボランティア論							
				キャリアデザイン演習Ⅰ							
				キャリアデザイン演習Ⅱ							
英語圏の文化と社会											
英文法演習											
国際関係論											
国際法入門											
国際理解教育論											
海外英語実習 (ニューージーランド)											
基礎ゼミナール											
教養ゼミナール											
卒業研究											
専	准教授	永田 道弘 (41)	平成25年4月	フランス語ⅠA							
				フランス語ⅠB							
				フランス語ⅡA							
				フランス語ⅡB							
				国際総合入門							
				キャリアデザイン演習Ⅱ							
				ヨーロッパの文化と社会							
				検定フランス語演習							
				フランス語コミュニケーション							
				海外フランス語実習							
大分の観光と文化											
基礎ゼミナール											
教養ゼミナール											
卒業研究											

専	准教授	Julie Joy Nootbaar (44)	平成25年4月	国際総合入門										
				キャリアデザイン演習Ⅱ										
				英語圏の文化と社会										
				英語コミュニケーション(初級)										
				英語コミュニケーション(中級)										
				英語プレゼンテーション										
				ビジネス英語(初級)										
				イングリッシュ・ライティング										
				多文化理解論										
				海外英語実習(アメリカ)										
				海外ボランティア実習										
				大分の観光と文化										
基礎ゼミナール														
教養ゼミナール														
卒業研究														
専	講師	城田 愛 (40)	平成25年4月	文化人類学										
				英語ⅠA	兼任	講師	染矢 正一 (66)	平成25年4月	英語ⅠA	育児短時間勤務制度適用により科目担当者交替(25)				
				英語ⅠB					英語ⅠB	育児短時間勤務制度適用終了により、担当(26)				
				国際総合入門					平成25年度は担当せず	育児短時間勤務制度適用により科目担当免除。他の専任教員が担当予定回を分担するため講義実施には支障なし(25) 育児短時間勤務制度適用終了により、担当(26)				
				キャリアデザイン演習Ⅱ					平成25年度は担当せず	育児短時間勤務制度適用により科目担当免除。他の専任教員に学生を配分するため講義実施には支障なし(25) 育児短時間勤務制度適用終了により、担当(26)				
				比較文化論										
				日本の文化と社会					平成25年度は担当せず	育児短時間勤務制度適用により科目担当免除。他の専任教員に学生を配分するため講義実施には支障なし(25) 育児短時間勤務制度適用終了により、担当(26)				
				観光文化論										
				観光フィールドワーク										
				エコツーリズム論										
				インターンシップ	専	准教授	永田 道弘 (41)	平成24年5月	インターンシップ	本授業科目は進路支援主任担当科目となっており、進路支援主任が交替したため(25)				
				基礎ゼミナール										
教養ゼミナール					平成25年度は担当せず	育児短時間勤務制度適用により科目担当免除。他の専任教員に学生を配分するため講義実施には支障なし(25) 育児短時間勤務制度適用終了により、担当(26)								
卒業研究														
専	講師	宮野 幸岳 (38)	平成25年4月	国際総合入門										
				キャリアデザイン演習Ⅱ										
				観光総論										
				大分の観光と文化										
				観光実務論										
				観光ビジネス論										
				観光経済学										
				ホスピタリティ論										
				観光地理論										
				国際観光ビジネス										
				観光ビジネス特論										
				ホテルビジネス実務										
				基礎ゼミナール										
				教養ゼミナール										
				卒業研究										
				専	講師	朴 貞蘭 (36)	平成25年4月	韓国語ⅠA						
								韓国語ⅠB						
韓国語ⅡA														
韓国語ⅡB														
国際総合学科														
キャリアデザイン演習Ⅱ														
アジアの文化と社会														
検定韓国語演習														
韓国語コミュニケーション														
海外韓国語実習Ⅰ														
海外韓国語実習Ⅱ														
基礎ゼミナール														
教養ゼミナール														
卒業研究														

専 講師	常 梅 (27)	平成25年4月	中国語 I A					
			中国語 I B					
			中国語 II A					
			中国語 II B					
			国際総合入門					
			アジアの文化と社会					
			検定中国語演習					
			中国語コミュニケーション					
			海外中国語実習					
			教養ゼミナール					
			卒業研究					
専 教授	陳 剛 (52)	平成26年4月	中国語 I A	専 准教授	周 鳴 (34)	平成26年4月	中国語 I A	江漢大学での役職就任のため、派遣 教員の変更 (26)
			中国語 I B				中国語 I B	
			中国語 II A				中国語 II A	
			中国語 II B				中国語 II B	
			国際総合入門				国際総合入門	
			アジアの文化と社会				アジアの文化と社会	
			検定中国語演習				検定中国語演習	
			中国語コミュニケーション				中国語コミュニケーション	
			海外中国語実習				海外中国語実習	
			教養ゼミナール				教養ゼミナール	
			卒業研究				卒業研究	

<共通>

設置時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
兼任	教授	凍田 和美 (64)	平成25年4月	情報機器基礎演習 情報モラル 情報処理基礎演習 情報処理応用演習 デジタル文書作成演習 ビジネスコンピューティング	兼任	講師	凍田 和美 (65)	平成26年4月	情報機器基礎演習 情報モラル 情報処理基礎演習 情報処理応用演習 デジタル文書作成演習 ビジネスコンピューティング	定年退職のため(26)
兼任	教授	吉良 伸一 (60)	平成25年4月	環境と社会 地域社会特講Ⅰ 地域社会特講Ⅱ 現代と人権 サービスラーニングⅠ サービスラーニングⅡ サービスラーニングⅢ サービスラーニングⅣ						
兼任	教授	佐藤 淳介 (59)	平成25年4月	自立を考える						
兼任	教授	下川 正晴 (63)	平成25年4月	時事ニュース研究						
兼任	教授	吉山 尚裕 (53)	平成25年4月	社会心理学						
兼任	教授	洲 雅明 (48)	平成25年4月	健康と生活 健康・スポーツA 健康・スポーツB						
兼任	教授	藤田 文 (48)	平成25年4月	心理学 自立を考える						
兼任	教授	磯崎 淳子 (59)	平成25年4月	音楽の魅力	兼任	准教授	遠藤信一 (46)	平成25年4月	音楽の魅力	音楽理論担当教員に変更し内容の充実を図る(25)
兼任	教授	松倉 利之 (61)	平成25年4月	音楽の魅力						
兼任	教授	河野 敦朗 (60)	平成25年4月	音楽の魅力						
兼任	教授	小川 伊作 (60)	平成25年4月	音楽の魅力						
兼任	准教授	坂口 桂子 (50)	平成25年4月	自立を考える 現代企業論 秘書概論 秘書実務Ⅲ						
兼任	准教授	吉岡 孝 (43)	平成25年4月	自立を考える 情報処理基礎演習 情報処理応用演習						
兼任	准教授	荻野 哉 (43)	平成25年4月	芸術文化Ⅰー美の世界 芸術文化Ⅱー鑑賞とマネジメント 世界の美術						
兼任	准教授	石山 聡 (49)	平成25年4月	音楽の魅力						
兼任	准教授	愛甲 久美 (49)	平成25年4月	音楽の魅力						
兼任	准教授	行天 正恭 (45)	平成25年4月	音楽の魅力						
兼任	准教授	森口 真司 (48)	平成25年4月	音楽の魅力						
兼任	講師	狩谷 新 (56)	平成25年4月	メディアリテラシー 創作表現						
兼任	講師	安倍 尚紀 (36)	平成25年4月	地域社会特講Ⅰ 地域社会特講Ⅱ 現代生活論 現代社会論 サービスラーニングⅠ サービスラーニングⅡ サービスラーニングⅢ サービスラーニングⅣ						

兼任	講師	八木 明知 (38)	平成25年4月	造形入門						
兼任	講師	松本 康史 (38)	平成25年4月	ユニバーサルデザイン	兼任	准教授	松坂洋三 (58)	平成26年4月		この科目に、より適任の担当者が新規に採用されたため(26)
兼任	講師	西口 顕一 (33)	平成25年4月	造形入門	兼任	講師 教授	松本 康史(39) 澤田一佳孝(64)	平成26年4月 平成25年4月	造形入門	定年退職のため担当者変更(26) 平面的ではなく、立体的造形も体験させるため、担当者を変更(25)
兼任	講師	宮本 修 (66)	平成25年4月	音楽の魅力	兼任	教授	川瀬 真由美 (48)	平成25年4月	音楽の魅力	管弦打担当教員に変更し内容の充実を図る(25)
					兼任	教授	清水 万敬 (54)	平成25年4月	音楽の魅力	管弦打担当教員に変更し内容の充実を図る(25)
兼任	講師	渡辺 尚子 (35)	平成25年4月	情報機器基礎演習 デジタル文書作成演習						
兼任	講師	佐藤 哲也 (36)	平成25年4月	情報機器基礎演習 デジタル文書作成演習						
兼任	講師	篠崎 大志 (43)	平成25年4月	日本の伝統文化						
兼任	講師	平国 美佐喜 (52)	平成25年4月	国際秘書概論						
兼任	講師	平井 義人 (57)	平成25年4月	文献からみた大分の歴史と人物	兼任	講師	松原 勝也 (42)	平成26年4月	文献からみた大分の歴史と人物	講師の都合により担当者変更(26)
兼任	講師	中島 伸枝 (31)	平成25年4月	グランドスタッフ実務						
兼任	講師	波多野 慎二 (51)	平成25年4月	簿記 I 簿記 II	兼任	講師	佐田 健児 (54)	平成26年4月	簿記 I 簿記 II	講師の都合により担当者変更(26)
兼任	講師	松隈 久昭 (51)	平成25年4月	消費行動論						
兼任	講師	高清水理奈子 (43)	平成25年4月	秘書実務 I 秘書実務 II						
兼任	講師	中野 広子 (48)	平成25年4月	医療事務						
兼任	講師	森下 美穂子 (49)	平成25年4月	ビジネスコンピューティング						
兼任	講師	堀米 京子 (38)	平成25年4月	DTP演習	兼任	講師	森竹 俊象 (40)	平成26年4月	DTP演習	講師の都合により担当者変更(26)
兼任	講師	首藤 孝雄 (45)	平成25年4月	Web演習※						
兼任	講師	菊池 達哉 (43)	平成25年4月	Web演習※	兼任	講師	板井 悟史 (34)	平成26年4月	Web演習※	講師の都合により担当者変更(26)
兼任	講師	上見 憲弘 (46)	平成25年4月	音の科学						
兼任	講師	小野 宏 (38)	平成25年4月	経済学						
兼任	講師	青野 篤 (40)	平成25年4月	法学(日本国憲法)						
兼任	講師	井上 里美 (37)	平成25年4月	アートセラピー						
兼任	講師	安東 扇弥子 (37)	平成25年4月	ファッションの世界						
兼任	講師	渡辺 律子 (44)	平成25年4月	情報機器基礎演習 情報モラル※						
兼任	講師	長池 一美 (41)	平成25年4月	日本事情						
兼任	講師	穴井 孝義 (54)	平成25年4月	英語IA 英語IB						
兼任	講師	宮内 信治 (44)	平成25年4月	英語IA 英語IB						

兼任	講師	Luigi Iannotti (54)	平成25年4月	イタリア語ⅠA								
				イタリア語ⅠB								
				イタリア語ⅡA								
				イタリア語ⅡB								
兼任	講師	後藤 幸美 (35)	平成25年4月	日本語ⅠA								
				日本語ⅠB								
				日本語ⅡA								
				日本語ⅡB								
					兼任	講師	凍田 和美 (65)	平成26年4月	情報と社会	共通教育科目の充実を図るため新規開講(26)		

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
  - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
  - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成26年5月1日現在の満年齢を記入してください。
  - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」,「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
  - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。  
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度( )書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	教員の定年年齢	定年を延長している教員数
5	5	3		13	4	6	3		13		
(4)	(5)	(4)	( )	(13)	[ 0 ]	[ 1 ]	[ △ 1 ]	[ ]	[ 0 ]	65歳	0名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成26年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: △1)
- ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成26年5月1日現在、特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	教授	陳 剛	江漢大学の役職就任のため、本学への就任を辞退
2			
3			

(注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

派遣教員の変更は江漢大学の都合によるものであり、交代はやむを得ないものとする。  
学生への周知方法は、シラバスに記載するとともに、授業時間を利用して周知徹底を図った。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時  (平成25年4月)	該当なし	該当なし	
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年△△月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年□□月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。（認可で設置された学部学科等のみ。）
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

## 7 その他全般的事項

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	該当なし

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

#### ① 実施体制

##### a 委員会の設置状況

本学では、FD委員会は、FD推進会議という名称で設置されている。この組織は、公立大学法人大分県立芸術文化短期大学の組織に関する規程（平成18年4月1日規程第6号、改正平成22年4月1日）の第14条（FD推進会議）に下記のように定められている。

第14条 教育に関する改善活動を組織的に行うため、FD推進会議（以下「推進会議」という。）を置く。

2 推進会議は、会長、教務・学生担当副部長及びFD推進教員をもって組織する。

3 会長は、教授の中から学長が任命する。

4 会長の任期は、2年とする。ただし、補欠の会長の任期は、前任者の残任期間とする。

5 会長は、再任されることができる。

6 FD推進教員は、各学科から1人を選出し、学長は、当該選出された教員を任命するものとする。

7 FD推進教員の任期は、2年とする。ただし、補欠のFD推進教員の任期は、前任者の残任期間とする。

8 FD推進教員は、再選出され、再任されることができる。

9 会長は、必要に応じて、推進会議の会議に事務局長、総務企画部長及び教務学生グループリーダーの出席を求めることができる。

10 推進会議の分掌事務については、別に定める。

なお、平成26年度からは、教員と事務職員が一体となって教育の質保証をめざすために、FD推進会議をFD・SD推進室に名称変更し、事務職員を構成員に加えた。

##### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

平成25年度のFD推進会議も、例年と同じく、2～3ヶ月に1回の頻度で開催した。構成員は、教務学生部長（上記規程の会長）、同副部長1名、各学科の推進教員4名、担当事務職員1名。毎回、全員が参加し、下記の審議や打合せを行った。

##### c 委員会の審議事項等

- ・ 全学的な研修会（FDミーティング）の企画と実施
- ・ 学生による授業評価アンケートの実施と分析
- ・ 卒業（修了）予定者を対象とした満足度アンケート
- ・ 教育方法の改善策
- ・ 各学科のFD活動

#### ② 実施状況

##### a 実施内容

- ・ 全学的な研修会（FDミーティング） ※平成25年度は、年3回実施
- ・ 学生による授業評価アンケート
- ・ 卒業（修了）予定者を対象とした満足度アンケート
- ・ 教育方法改善のための研究会
- ・ 教員相互の授業参観
- ・ 学外のFD研修会への参加（大学コンソーシアム京都等のFDフォーラムに参加）
- ・ 新任教員のための研修会

##### b 実施方法

全学的に取り組むFD活動と学科で取り組むFD活動に大別される。全学的には、年3回程度、研修会（FDミーティング）を実施している。そこでは、個々の教員が、授業改善への取り組み、学科のFD活動の実施状況、学外のFD研修会での成果などを発表している。学生による授業評価や卒業（修了）予定者を対象とした満足度アンケートは、FDミーティングとは別に、教授会で実施の事前説明と結果報告を行っている。

学科主体のFD活動は、主に授業を中心とした教育方法の改善である。平成25年度は、全学的な方針に基づいて、各学科でラーニングアウトカム（学修成果）を把握するためのポートフォリオを作成し、試行した。教員相互の授業参観は、各学科で企画し、全学の教員に参加を呼びかけている。新任教員の研修会も、当該学科で行っている。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

全学的な研修会（FDミーティング）は、例年、年3回程度実施している。教授会に引き続き開催しているため、ほとんどの教員（90%以上）が参加している。学科のFDミーティングは、原則として月1回開催される学科会議の中、もしくは、終了後に開催される。各学科とも、ほとんどの教員（90%以上）が参加している。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

全学及び学科のFD活動を通して、授業改善に取り組んでいる。前・後期終了後、教員は学生による授業評価アンケートの結果に基づいて、担当授業の問題点を検討し、改善策をレポートにまとめている（FD推進会議に提出）。また、全教員が年度始めに、前年度の「年間活動報告書」と、当該年度の「年間活動計画書」を教育研究審議会に提出することが義務づけられており、その中でも授業の実施状況と改善策を報告している。以上のような計画→実施→評価のサイクルの中で授業改善に取り組んでいる。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前期・後期とも、学期末の2週間を使って全教員（非常勤教員を含む）が実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

学生と教職員に公開している。公開内容は、各教員の担当科目の「授業評価集計表」と、それに基づいて、各教員が、自己の所見や授業改善策をまとめた「教員レポート」である。これらは附属図書館で自由に閲覧できる。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

国際総合学科は、開設年度である平成25年度は111名（224名出願）、今（平成26）年度は127名（272名出願）の新入生を迎えることができた。教員体制については、中国語関係の担当教員が、本学と協定を結んでいる中国・江漢大学の事情により交代した以外、届出通りに専任教員を確保している。また、専門教育科目も共通教育科目も、届出通りすべて開講し、教育活動を展開している。

今後も、継続的な点検・評価が必要であるが、同学科は、設置の趣旨・目的である「国際的視野と行動力を備えた国際人」「世界の動きを見つめ、地域で活躍する国際人」の育成に向けて、設置計画を着実に履行しつつあると評価している。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成26年6月30日 公表予定

b 公表方法

・自己点検・評価報告書を刊行し、他の短期大学、本学関係機関、希望機関（者）に配布する。

・本学ホームページ上に公開予定（平成26年6月30日を予定）

③ 認証評価を受ける計画

・平成28年度に評価機関（公益財団法人・大学基準協会）の評価を受けるべく、学内で検討中

（注）・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (  有 ・  無 )

b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) ( 平成26年 7月 1日 )